

ぶろしよつぷつうしん

推薦の重たさ

受験シーズン真っただ中、インフルエンザも流行し、追い込みとなる受験生にとっては体調管理が大変なシーズンです。

プロボウリングも受験シーズンへ突入し、三月からプロテストの受験受付が始まります。プロテストは正式には「プロボウラー資格取得テスト」と言い、このテストに合格して初めてプロボウラーとなることができます。

プロテストは十六歳以上に受験資格がありますが、願書を提出すれば受験できるというものではありません。受験するには、五年以上のプロボウラー二名の推薦が必要となります。さらに、求められているのは実力だけではありません。



ボウラーとしての人格も同時に求められます。推薦状の欄にこのような記載が好まれます。

「受験するにふさわしい技量・人格を兼ね備えたボウラーであることを推薦」

簡単に言えば、推薦者は「プロボウラーになる実力がありますよ」「プロボウラーになるのにふさわしい人ですよ」という太鼓判を押さなければなりません。さらに、受験生の行動において全責任を負わなければなりません。試験中、試験監督者は、各受験生の推薦者一覧を常に持っています。万が一、受験生が遅刻失格やトラブルを起こした場合、推薦者にも連絡が入り、

注意やペナルティを受けることとなります。ですので、推薦する側にも重い責任がありますし、自信を持って受験生を送り出さなければなりません。

自分が受験したときですが、推薦者となる師匠に受験の一年前に「受験したい」と宣言をしまかどうか）決める」と言われました。それから一年間、技術はもちろんですが、ボウラーとしてというところをたくさん教えてもらいました。そして願書提出時期が近づいたある日のこと、師匠から「これ書いて持ってこい」と願書を手渡されました。

資格取得テストとはなっていますが、自分としては資格試験というより就職試験であると思います。だからこそ「技量・人格」の両方が必要なのではないかと自分は思います。次回はテスト本番についてお話しをしたいと思います。

新商品情報



FUJIBOWLオリジナルワッペンの販売を開始しました。特殊加工をしてありますので、アイロンで簡単にウェアなどに付けることができます。今後オリジナルグッズを販売していきますのでお楽しみに。

〈ドリラーのひとりごと 第14話〉
〜テープ類 その2〜

今回からは指に貼るテープをご紹介していきます。まず、中指・薬指用のものからです。用途としては大きく二つに分類されます。

一つ目は指の保護です。近年、大半はボールにフィンガーグリップを装着しています。そのため以前よりも指乗りもよくなった反面、グリップとの摩擦などにより、指を切ってしまうことがあります。そのために、「ティアライトテープ」「ガードテープ」といったものを指に巻くことで指の保護をしています。



もうひとつは指乗りアップです。フィンガーグリップの使用により指乗りはよくなりましたが、より指乗りを良くするために指に貼ります。「インデックステープ」などを販売しておりますが、かなりギョツとした感じを持つかと思えます。

ただし、テープの厚みの分、グリップのサイズは大きくする必要があります。ですので、テープを使ったり使わなかったりという使い分けはしにくいので注意が必要です。それと汗をかきやすい方は「のりつた」などのテープ下地剤の併用をお勧めします。

〈筆者〉



佐取賢プロ(44期)
JPBA/PBAプロボウラー
JPBA B級インストラクター
JBC公認ドリラー